



学生：協会番号 _____ 氏名 _____ 評価者 _____ 課題経穴 _____ 穴 _____

評価項目	評価内容	判定基準 (不良数)				評価 点数
		無し	1つ	2つ	3つ 以上	
身だしなみ 態 度	□服装(白衣)、□頭髪、□爪、□身体、□装飾など □言葉遣い、□相手への気遣い、□施術の旨を伝えるなど	0	-5	-10	-20	
準 備	□手指消毒 (刺鍼前後の消毒、施術中の衛生管理など) □器具などの衛生操作 (パッドの消毒、滅菌パックの開封、滅菌・消毒された施術道具を適切に使用・処理したなど)	0	-5	-10		
消 毒	□消毒の流れ (綿花を取り出す際の手指消毒、綿花入れフタの開け閉め、アルコール量の調整) □施術前の消毒 (一方向 or 遠心性渦巻きは適切か、押し手の触れる部分全ての範囲か、綿花を適宜交換しているか) □消毒なし→0評価 (不可)	10	8	6	0	
消毒の総合評価 可 ・ 不可 (前消毒なしの場合は不可)						
前揉法	□前揉法 (揉擦の圧、回数、時間、丁寧さなど)	10	8	6		
押 手	□押手圧 (安定・不安定、垂直圧、水平圧、周囲圧など) □形 (満月・半月、中指から小指の3指の形など)	10	8	6		
切 皮	□回数 <input type="checkbox"/> _____ 回 <input type="checkbox"/> _____ 回 原則として数回 (2~3回) の弾入 □切皮方法 (鍼管まで強く叩いていないか、鍼柄の上部を垂直に叩いているか、手首を柔軟にリズムカルに叩いているか、叩く力は鍼の太さ・鍼尖の形状・材質・部位により加減しているかなど)	10	8	6		
刺 入	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 刺入方向 (<input type="checkbox"/> 直刺・ <input type="checkbox"/> 斜刺・ <input type="checkbox"/> 水平刺 <input type="checkbox"/> 直刺・ <input type="checkbox"/> 斜刺・ <input type="checkbox"/> 水平刺) 角度は適切か (<input type="checkbox"/> _____ <input type="checkbox"/> _____) <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 刺入深度は適切か (<input type="checkbox"/> _____ <input type="checkbox"/> _____) <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 刺入方法： ①送り込み (刺手の母指と示指で鍼柄または鍼柄と鍼体の接合部を持ち、鍼を送り込むように刺入圧を加えているか) ②旋擦刺法 (鍼を刺入時、刺手の母指と示指で鍼柄を左右に 1/2~1/3 の範囲で回転させながら刺入しているか) <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 刺入圧は適切か (鍼が曲がらずスムーズに刺入しているか) <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 1回の操作で刺入できたか (<input type="checkbox"/> _____ <input type="checkbox"/> _____ <input type="checkbox"/> _____ <input type="checkbox"/> _____)	課題経穴1 (課題1穴のみ)				
		20 (40)	15 (30)	10 (20)	0	
		課題経穴2				
		20	15	10	0	
刺入の総合評価 可 ・ 不可 (危険な刺入の場合は不可)						
抜 鍼	□抜鍼は適切か (そのまま引き上げ or 旋擦しながら) (引き抜くスピードは適切か、滑らかに抜いているか、丁寧に抜いているかなど) □鍼曲がり	10	8	6		
後揉法	□後揉法 (揉擦の圧、回数、時間、丁寧さなど)	→前揉法と合わせ評価				
後消毒	□施術後の消毒	→前消毒と合わせ評価				
総 合	□術者の姿勢、□患者の姿勢、□立ち位置、□動きの合理性など	10	8	6	0	
備考欄						
評価点の算出方法 身だしなみ・態度の項目は減点法、準備~総合の各項目は加点法にて算出し合計点数を評価点に記載する。						
総合評価		可 ・ 不可			評価点 _____ 点	

評価項目	評価内容	判定基準（不良数）				評価結果																																	
		無し	1つ	2つ	3つ以上																																		
身だしなみ 態度	□服装(白衣)、□頭髪、□爪、□身体、□装飾など □言葉遣い、□相手への気遣い、□施術の旨を伝えるなど	0	-5	-10	-20																																		
準備	□手指消毒（施灸前後の消毒、施術中の衛生管理など） □準備動作（こよりの準備、線香への着火、灰皿の準備など）	10	8	6																																			
消毒	□消毒の流れ（綿花を取り出す際の手指消毒、綿花入れのフタの開け閉め、アルコール量の調節など） □施術前の消毒（方法：一方向・遠心性渦巻き） （範囲：施術部位を中心に軽く消毒）	10	8	6	0																																		
艾炷置き	□艾炷を垂直に置けているか □同一点に正確に置けているか	10	8	6																																			
艾捻り その他	□捻りは硬過ぎないか（燃烧時間が長い→硬い捻り） □灸熱の緩和は適切か（母指・示指、示指・中指などで適切に熱を緩和しているか）	10	8	6	0																																		
着火	□不安定な着火になっていないか □着火に時間はかかりすぎていないか □着火時に灰を落としていないか	20	16	12	0																																		
	着火の総合評価 可 ・ 不可（危険な着火の場合は不可）																																						
艾炷作り (艾炷の状態) および 壮数	艾炷の状態チェック項目 ①大きさ→（米粒大・半米粒大） ②形状（錐形か→棒状、先細り、団子状、底面が整っていない等） ※不良壮数のカウント方法 大きさのみ or 形のみ不良でも、同時に両方不良でも共に1壮とする	20	16	12	0																																		
	<table border="1"> <tr> <td>点火壮数</td> <td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td><td>5</td><td>6</td><td>7</td><td>8</td><td>9</td><td>10</td> </tr> <tr> <td>有効壮数</td> <td><input type="checkbox"/></td><td><input type="checkbox"/></td><td><input type="checkbox"/></td><td><input type="checkbox"/></td><td><input type="checkbox"/></td><td><input type="checkbox"/></td><td><input type="checkbox"/></td><td><input type="checkbox"/></td><td><input type="checkbox"/></td><td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td>不良壮数</td> <td><input type="checkbox"/></td><td><input type="checkbox"/></td><td><input type="checkbox"/></td><td><input type="checkbox"/></td><td><input type="checkbox"/></td><td><input type="checkbox"/></td><td><input type="checkbox"/></td><td><input type="checkbox"/></td><td><input type="checkbox"/></td><td><input type="checkbox"/></td> </tr> </table> <p>（有効数とは完全燃焼した壮数→途中消え・吊上げは含まない 但し、8分灸など途中で消す場合は有効壮数とする）</p>	点火壮数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	有効壮数	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	不良壮数	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	有効数が課題壮数と同じなら 20 有効数が課題壮数の9～8割は 16 有効数が課題壮数の7～6割は 12 有効数が課題壮数の6割未満は 0 ※課題が 10 壮以上の場合は、10 壮出来れば 20 点、8～9 壮なら 16 点、6～7 壮なら 12 点、5 壮以下なら 0 点とする。				
	点火壮数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10																												
有効壮数	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																													
不良壮数	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																													
米粒大の基準  半米粒大の基準 	課題壮数 _____ 壮 → 有効数 _____ 壮 不良数 _____ 壮 ※課題壮数が 10 壮以上の場合は 10 壮までを評価する （課題時間 _____ 分）	10	8	6	0																																		
総合評価 可 ・ 不可（艾炷作り・壮数ともに0評価の場合）																																							
後消毒	□施灸後の消毒 →前消毒と合わせ評価																																						
後処理	□後処理は適切か（線香の消火・道具処理・人体施灸時は灰の処理など）→艾捻りその他と合わせ評価																																						
総合	□術者の姿勢、□患者の姿勢、□立ち位置、□動きの合理性	10	8	6	0																																		
備考欄																																							
評価点の算出方法 身だしなみ・態度の項目は減点法、準備～総合の各項目は加点法にて算出し合計点数を評価点に記載する。																																							
総合評価 点	可 ・ 不可					評価点																																	

はりきゅう実技評価委員会 評価マニュアル

< 2017. 4. 1改訂 >

採点方法


- ・本評価は加点法にて行われる。(但し、見だしなみ・態度、鉾の準備の項目は減点法とする。)
- ・各項目において、不良が1つあるごとに判定基準を1ランクずつ下げる。
- ・同じ評価内容に複数回の不良がみられても、チェックボックス1つにつき、1回の減点とする。
- ・不良が3つ以上の項目は0点とする。(但し、危険行為があった場合など不良が1つでも、評価点数が即0点・総合評価が不可となる項目もある。)


採点にあたっての注意事項


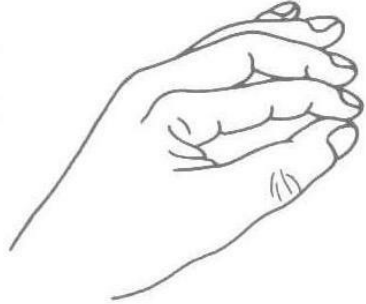
- ※評価点数に0点がついた場合、評価者は評価表の備考欄に判定の理由を必ず書き入れる。
- ※試験中止に該当した項目があった場合、中止の判断は試験校に委ね、試験後に評価委員から中止事由があった旨、試験実施校に伝える。
- ※試験校の判断で試験中止となった場合、中止となった項目以降について評価委員による判定も中止となる。
- ※本マニュアルと内容が違い、判定が困難な場合は、評価できない項目としてチーフが判断することがある。
- ※灸の課題は、1壮のみでは判定できない項目が多いため、原則として複数壮とする。

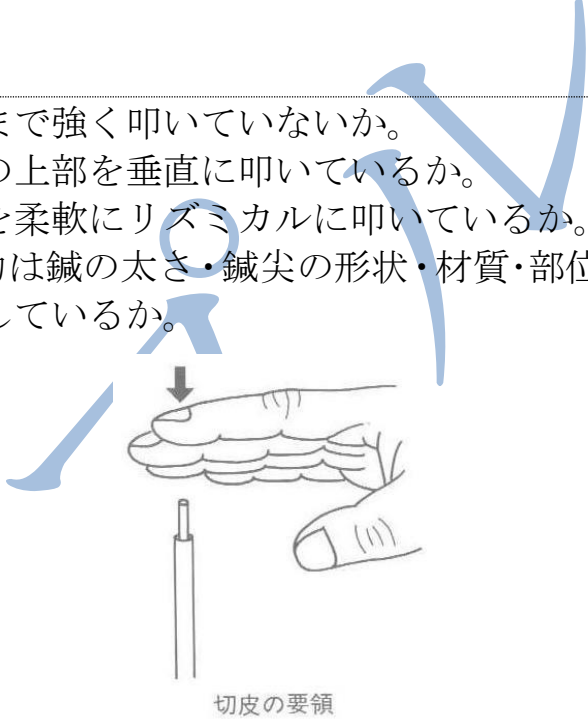
《鍼》

	評価項目	判定のポイント
身だしなみ	1. 服装（白衣）	・学校所定の服装（白衣）で、清潔なものを着用している。
	2. 頭髪	・施術者に相応しい髪型・髪色をしている。
	3. 爪	・爪は短く、汚れがないようにし、マニキュアは避ける。
	4. 身体	・身体は清潔にして不快感を与えないように配慮し、香水は避ける。
	5. 装飾 など	・衛生上、手指のアクセサリは原則としてはずし、華美な装飾は避ける。
態度	1. 言葉遣い	・モデル及び試験官に対し、失礼がないよう、常に丁寧な言葉遣いで接する。
	2. 相手への気遣い	・モデルへの気遣い（苦痛の考慮など）を適切に行う。 ・誠実な態度を保つことができる。
	3. 施術の旨を相手に伝える など	・モデルにどのような施術をするのか、適切に伝える。
準備	1. 手指消毒 刺鍼前後の消毒	・施術を行うにあたり、スワブ法またはラビング法にて、手掌・手背・指先を消毒する。
	施術中の衛生管理 など	・施術中に手指が不潔となった場合に、再度消毒している。
	2. 器具などの衛生 操作 ・パッド（盤台・ワゴンなど）の消毒	・器具の清潔、不潔を区別し、適切な衛生操作が行えている。

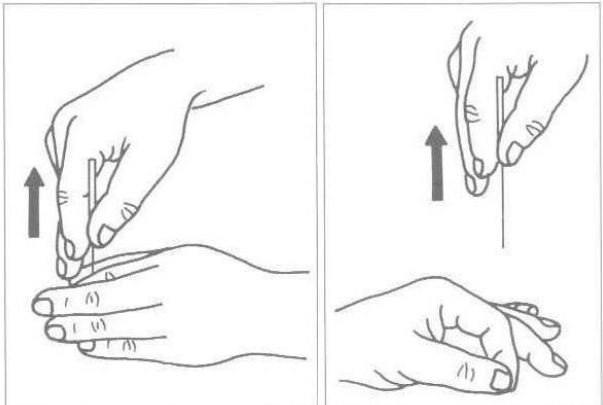
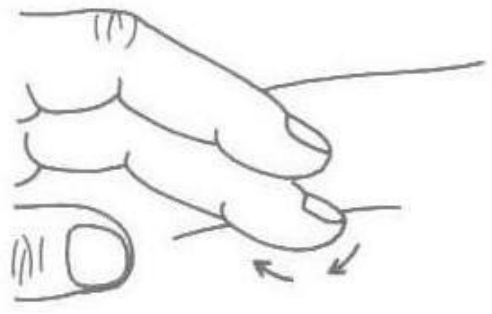
	評価項目	判定のポイント
	<ul style="list-style-type: none"> 滅菌パックの開封 	<ul style="list-style-type: none"> 滅菌パックの開封やシャーレの取り出しが衛生的に行われている。
	<ul style="list-style-type: none"> 滅菌・消毒された施術道具を適切に使用・処理したなど 	<ul style="list-style-type: none"> 施術器具を衛生的に取り扱い、施術中に不潔となった場合には再度消毒する等、適切に処理を行った。
消毒	1. 消毒の流れ 綿花を取り出す際の手指消毒	<ul style="list-style-type: none"> 消毒された清潔な手指で綿花を取り出す。
	綿花入れの蓋の開け閉め	<ul style="list-style-type: none"> 綿花入れの蓋が不潔であることを理解し、触れた場合は、再度手指消毒を行う。
	アルコール量の調節	<ul style="list-style-type: none"> 余分なアルコールは廃綿容器の中で絞る。(清潔な綿花入れの中では絞らない。)
	2. 施術前の消毒方法	<ul style="list-style-type: none"> 遠心性に渦状、あるいは一方向に行い、拭き戻しや二度拭きはしない。 綿花は消毒のたびに新たなものと交換して使用する。
	範囲	<ul style="list-style-type: none"> 施術部位への消毒は、施術者の押手の触れる部分全てに行う。  <p style="text-align: center;">施術部位の消毒</p>
	※消毒の総合評価	<ul style="list-style-type: none"> 前消毒がなかった場合→消毒の総合評価は不可なり、消毒項目の評価は即0点となる。

	評価項目	判定のポイント
前揉法	前揉法 圧	<ul style="list-style-type: none"> ・ 刺鍼部位に押し手の指腹（示指、中指、母指のいずれか）で適当な圧を加える。
	回数、時間	<ul style="list-style-type: none"> ・ 回す回数は、通常 3 ～ 5 回程度にする。
	丁寧さ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 皮膚面を滑動させるのではなく、緩やかな圧を深部に浸透させながら、ゆっくり柔らかく回すように行う。 ・ 刺鍼部位を刺激に慣らす観点から、丁寧に円を描くように行う。  <p data-bbox="845 1456 1181 1500">前揉法(前揉燃法)の揉み方</p>

	評価項目	判定のポイント
押手	1. 押手圧 安定・不安定	・安定した適切な形と圧を保ち、動揺させない。
	垂直圧	・押手の母指と示指で刺鍼部位の皮膚面を軽く加圧する。
	水平圧	・押手の母指と示指で鍼体を保持する。(水平圧が強すぎると刺入しにくく、弱すぎると鍼体がふらつき、刺入に差し支えるので、適当な圧を加える。)
	周囲圧	・中指、環指、小指や母指球、小指球など鍼体を保持する以外の部位を使い刺鍼部位を固定し、刺鍼を安定させる。
	2. 形 満月	・満月の押手→押手の母指と示指を軽く合わせて正しい円の形をつくる。 
	半月	・半月の押手→押手の母指と示指を軽く合わせて半円形の形をつくる。 
	中指から小指の3指の形など	・満月または半月に即した形が保持できているか。

	評価項目	判定のポイント
切皮	1. 回数	<ul style="list-style-type: none"> ・示指（指腹または遠位指節関節）で、原則として数回（2回～3回）の弾入で行う。 ※課題経穴が2穴の場合は1本ずつ判定する。 ※課題項目が1穴のときは評価表の□、2穴のときは2穴目を□にチェックを入れる。 ※1穴目と2穴目各々で回数を記載する部分を加えた。
	2. 切皮方法	<ul style="list-style-type: none"> ・鍼管まで強く叩いていないか。 ・鍼柄の上部を垂直に叩いているか。 ・手首を柔軟にリズムカルに叩いているか。 ・叩く力は鍼の太さ・鍼尖の形状・材質・部位により加減しているか。  <p style="text-align: center;">切皮の要領</p>
刺入		<p>刺入の1～5項目について</p> <ul style="list-style-type: none"> ※課題経穴が2穴の場合は1本ずつ判定する。 ※課題項目が1穴のときは評価表の□、2穴のときは2穴目を□にチェックを入れる。 ※配点は刺入項目全体で40点とする。 （課題経穴1穴のとき→40点、 2穴のとき→1穴20点×2本=40点） ※評価点数欄には、課題経穴2穴のときは合計点数を記入する。） ※1穴目と2穴目各々で刺入方向および深度を記載する部分を加えた。 ※1穴目と2穴目各々で1回の操作で刺入できたか、回数を記載する部分を加えた。


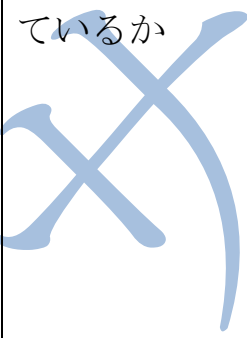

評価項目	判定のポイント
1. 刺入方向	<ul style="list-style-type: none"> ・指定された方向に刺入できており、角度は適切か。(直刺・斜刺・水平刺)
2. 刺入深度	<ul style="list-style-type: none"> ・刺入深度は適切か。(解剖学的構造から、危険と考えられる部位については適宜調整できたか。)
3. 刺入方法	<ul style="list-style-type: none"> ・指定された刺入方法で正しく刺入できる。 ・刺手の母指と示指で鍼柄または鍼柄と鍼体の接合部を持ち、鍼を送り込むように、刺入圧を加えていく。
① 送り込み刺法	<ul style="list-style-type: none"> ※2寸以上の鍼を使用する場合は、鍼体部分を持ち刺入しても良い。
② 旋撚刺法	<ul style="list-style-type: none"> ・鍼を刺入時、刺手の母指と示指で鍼柄を左右に1/2～1/3の範囲で回転させながら刺入する。
3. 刺入圧が適切か	<ul style="list-style-type: none"> ・鍼が曲がらず、スムーズに刺入できる。
4. 一回の操作で刺入できたか	<ul style="list-style-type: none"> ・1回の操作で刺入できる。
※刺入の総合評価	<ul style="list-style-type: none"> ※危険な刺入があった場合→刺入の総合評価は不可となり、刺入の項目の点数は即0点となる。

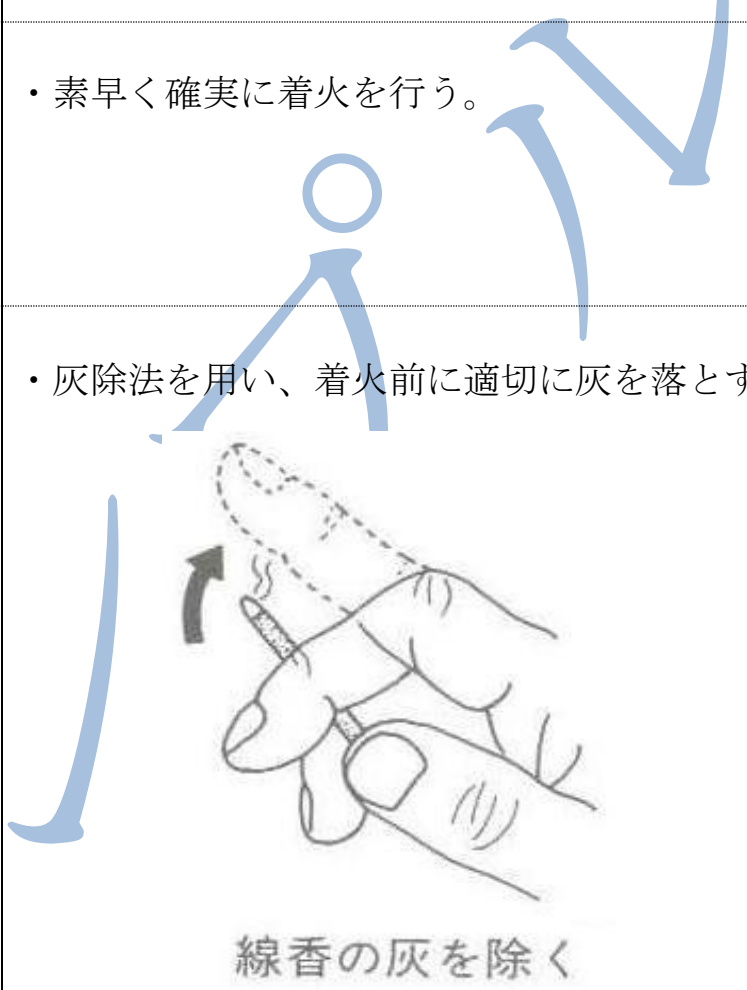
	評価項目	判定のポイント
抜鍼	1. 抜鍼は適切か	<ul style="list-style-type: none"> ・そのまま引き上げ、または施捻しながら鍼を抜き上げる。 ・引き抜くスピードは適切か。(徐々に静かに抜き去る方法が一般的であるが、手技によっては瞬時に抜き去ることもある。) ・滑らかに抜いているか、丁寧に抜いているか。  <p style="text-align: center;">抜鍼の手順</p> <ul style="list-style-type: none"> ・決して無理な力で抜き上げないこと。
	2. 鍼曲がりの有無	<ul style="list-style-type: none"> ・刺入されている鍼の方向を考慮し、その方向に沿って、抜鍼する。
後揉法	後揉法	<ul style="list-style-type: none"> ・抜鍼後に押手の示指、中指、もしくは母指を用いて、刺鍼部位を揉む。 ・方法については、前揉法と同様に行う。  <p style="text-align: center;">後揉法</p>



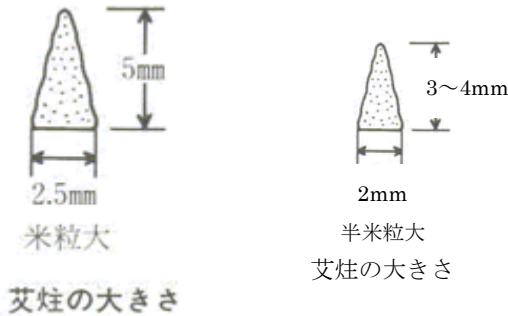
	評価項目	判定のポイント
後消毒	施術後の消毒	<ul style="list-style-type: none"> ・遠心性に渦状、あるいは一方向に行く。 ・綿花は消毒のたびに新たなものと交換して使用する。
総合	1. 術者の姿勢	・モデルの様子が観察できるよう、視野を広く保ち、極端な前かがみにならず、施術しているか。
	2. 患者の姿勢	・モデルの苦痛を考慮し、配慮しているか。
	3. 立ち位置	・無理な位置で施術を行っていないか。
	4. 動きの合理性	・時間内に滞りなく、スムーズに行えているか。

《灸》

	評価項目	判定のポイント
身だしなみ	1. 服装（白衣）	・学校所定の服装（白衣）で、清潔なものを着用している。
	2. 頭髪	・施術者に相応しい髪型・髪色をしている。
	3. 爪	・爪は短く、汚れがないようにし、マニキュアは避ける。
	4. 身体	・身体は清潔にして不快感を与えないように配慮し、香水は避ける。
	5. 装飾 など	・衛生上、手指のアクセサリは原則としてはずし、華美な装飾は避ける。
態度	1. 言葉遣い	・モデル及び試験官に対し、失礼がないよう、常に丁寧な言葉遣いで接する。
	2. 相手への気遣い	・モデルへの気遣い（苦痛の考慮など）を適切に行う。 ・誠実な態度を保つことができる。
	3. 施術の旨を相手に伝える など	・モデルにどの様な施術をするのか、適切に伝える。
準備	1. 手指消毒 施灸前後の消毒	・施術を行うにあたり、スワブ法またはラビング法にて、手掌・手背・指先を消毒する。 ・施術中に手指が不潔となった場合に、再度消毒している。
	施術中の衛生管理 など	・施術中に手指が不潔となった場合に、再度消毒している。
	2. 準備動作 艾の準備	・適切な量（小指頭大程度）の艾を左手手掌にとり、右手の小指球を左手掌に添え、軽く艾を転がしながら紡錘形に形を整える。
	線香への着火	・危険防止のため、ベッドから離れたところで、素早く線香に着火する。
	灰皿の準備 など	・施術前に、ワゴン（ベッドサイド）に灰皿を用意しておく。

	評価項目	判定のポイント
消毒	1. 消毒の流れ ・ 綿花を取り出す際の手指消毒 ・ 綿花入れの蓋の開け閉め	・ 綿花入れの蓋が未消毒であることを理解し、触れた場合は、再度手指消毒を行う。
	・ アルコール量の調節	・ 余分なアルコールは廃綿容器の中で絞る。(清潔な綿花入れの中では絞らない。)
	2. 施術前の消毒方法	・ 遠心性に渦状、あるいは一方向に行う。  施術部位の消毒
	範囲	・ 施術部位を中心に軽く消毒する。
艾炷置き	1. 艾炷を垂直に置けているか 	・ 艾炷を倒さず、垂直に置けているか。  灸点に艾炷を置く
	2. 同一点に正確に置けているか	・ 一点に連続施灸する場合は、同一点に正確に置けているか。

	評価項目	判定のポイント
着 火	1. 不安定な着火になっていないか	<ul style="list-style-type: none"> ・ 支点をつくり、安定した着火を行う。 ・ 線香を適切に持つことができる。 ・ 艾炷をつぶさずに着火できる。 ・ 艾炷の先端付近に着火できる。(側面点火はないか) ・ 線香を患者の皮膚に接触させずに着火できる。
	2. 着火に時間がかかっていないか	<ul style="list-style-type: none"> ・ 素早く確実に着火を行う。
	3. 着火時に灰を落としていないか	<ul style="list-style-type: none"> ・ 灰除法を用い、着火前に適切に灰を落とす。  <p>線香の灰を除く</p>
	※着火の総合評価	<ul style="list-style-type: none"> ・ 危険な着火(線香の燃焼部分がモデルの皮膚につく、衣類やシーツを焦がすなど)があった場合→着火の総合評価は不可となり、着火の項目の点数は即0点となる。

	評価項目	判定のポイント
艾捻り・その他	1. 捻りは硬すぎないか	<ul style="list-style-type: none"> ・適度な硬さの艾炷を捻ることができる。 ・燃烧時間が長すぎないか。
	2. 灸熱の緩和は適切か	<ul style="list-style-type: none"> ・母指・示指、示指・中指などで適切に熱を緩和させているか。 
艾炷作り・壮数	1. 艾の大きさ 	<ul style="list-style-type: none"> ・艾の大きさは適切か。(米粒大・半米粒大) ※実技評価委員会が推奨する艾炷の大きさ 米粒大 : 直径 2.5mm、高さ 5mm 半米粒大 : 直径 2mm、高さ 3mm~4mm 

	評価項目	判定のポイント
艾炷作り・壮数	2. 有効壮数	<ul style="list-style-type: none"> ・(透熱灸、八分灸など) 課題通り燃やしたものを有効壮数とする。 ・課題壮数に対し、燃烧壮数が同じ場合20点、9～8割は16点、7～6割は12点、6割未満は0点とする。 ※艾作り・壮数がともに0点の場合、艾炷作りおよび壮数の項目の総合評価は不可となる。 ※課題壮数が10壮以上の場合は、10壮までの評価とする。
	3. 艾炷の形状	<ul style="list-style-type: none"> ・円錐形に艾炷を作ることができる。 ・棒状・先細り・団子状・底面が整っていない場合は減点対象となる。 ・艾炷の大きさと艾炷の形状で不良がなければ10点、不良合計が有効壮数の2割未満は8点、4割未満は6点、4割以上は0点とする。 ※課題通りに燃やしたもののみ、大きさ・形の採点対象となる。(燃烧壮数として数えられるものを採点する。) ※大きさ・形が両方不良でも、不良1壮とカウントする。
後消毒	施灸後の消毒	<ul style="list-style-type: none"> ・施灸後の皮膚消毒は、軽めに行う。
後処理	1. 後処理は適切か 線香の消火	<ul style="list-style-type: none"> ・患者から離れた位置で、綿花で線香先端を挟み、消火する。
	道具処理	
	人体施灸時は灰の処理など	<ul style="list-style-type: none"> ・清潔な綿花を用い、灰をつまむように取り除く。

	評価項目	判定のポイント
総合	1. 術者の姿勢	・モデルの様子が観察できるように、視野を広く保ち、極端な前かがみにならず、施術しているか。
	2. 患者の姿勢	・モデルの苦痛を考慮し、配慮しているか。
	3. 立ち位置	・無理な位置で施術を行ってないか。
	4. 動きの合理性	・時間内に滞りなく、スムーズに行えているか。

